

CHOFU 高圧力型石油瞬間給湯器 高圧力型石油小形給湯機 (温水ボイラー) 工事説明書

型名 IB-4550GFH (減圧弁・逆止弁内蔵)

機器を据付ける前に必ずこの工事説明書をよくお読みの上、正しく据付けてください。なお、この工事説明書は工事終了後、取扱説明書とともに必ずお客様にお渡しください。

特に注意していただきたいこと

●ここに示した事項は、危害・損害の程度によって次のように分類されます。いずれも安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

警告	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

●絵表示には次のような意味があります。

	禁止
	指示
	アースを接続すること

次の場所には据付けない

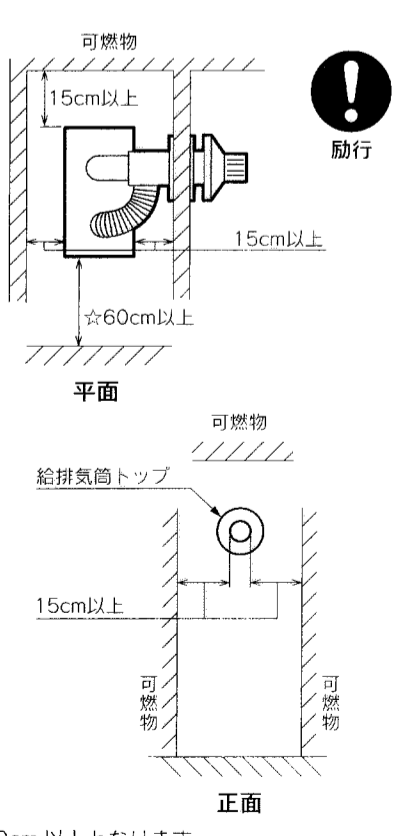
火災や予想しない事故の原因になります。

- 水平でない場所、不安定な場所
- 不安定な物をのせた棚などの下
- 可燃性ガスの発生する場所またはたまる場所
- 付近に燃えやすいものがある場所
- 階段、避難口などの付近で避難の支障となる場所
- 排水のしにくい場所
- 浴室

可燃物との距離を離す

- 機器から周囲の可燃物までの離隔距離は図のようになしてください。
- 周囲を防熱板、不燃材構造とした場合は緩和されますので、各地域の火災予防条例を参照してください。
- ☆印の寸法はサービススペースとして必要な距離です。
- 据付ける際には配管のためのスペースを考慮に入れてください。
- 金属製以外の不燃材の床上に据付けるか、または防火上有効な措置を講じた金属製の台上に据付けてください。

標準据付図例



ゴム製送油管の屋外使用禁止

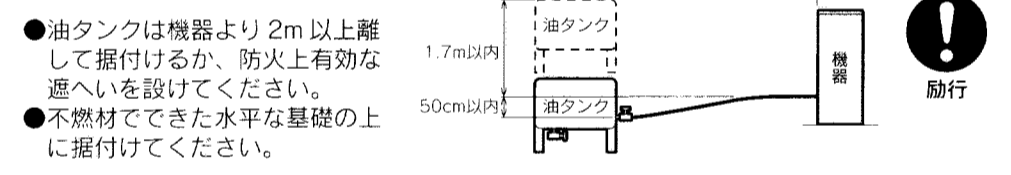
屋外では必ず銅管等を使用し、絶対にゴム製送油管は屋外で使用しないでください。ひび割れを生じて油漏れの原因になります。

警告

ガソリン厳禁 ガソリンなど揮発性の高い油は絶対に使用しないでください。火災の原因になります。 	屋内排気禁止 屋内に排気すると排ガスが室内に充満して危険です。必ず屋外に排気してください。
給排気筒は確実に接続 給排気筒は確実に接続し、しっかりと固定してください。風、振動、衝撃などではずれたりすると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。 	床下排気禁止 床下に排気すると排ガスが室内に漏れて危険です。必ず屋外に排気してください。
据付けや移動は、販売店または据付業者が行ってください お客様自身で据付けをされ、不備があると感電や火災の原因になります。 	給排気筒トップは閉そくしない場所に設置 積雪が多いときに給排気筒トップの周りが雪でふさがれない場所に設置してください。また、板などによる「雪囲い」は給排気の妨げになるのでおやめください。運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。
家庭用以外での使用禁止 この機器は家庭用です。業務用には使用しないでください。業務用には使用すると法令違反になります。 	火災予防条例、電気設備に関する技術基準、電気工事や水道工事はそれぞれ指定の工事に依頼するなど法令の基準を守ってください

注意

油タンクとの距離を離す



アース工事をすること

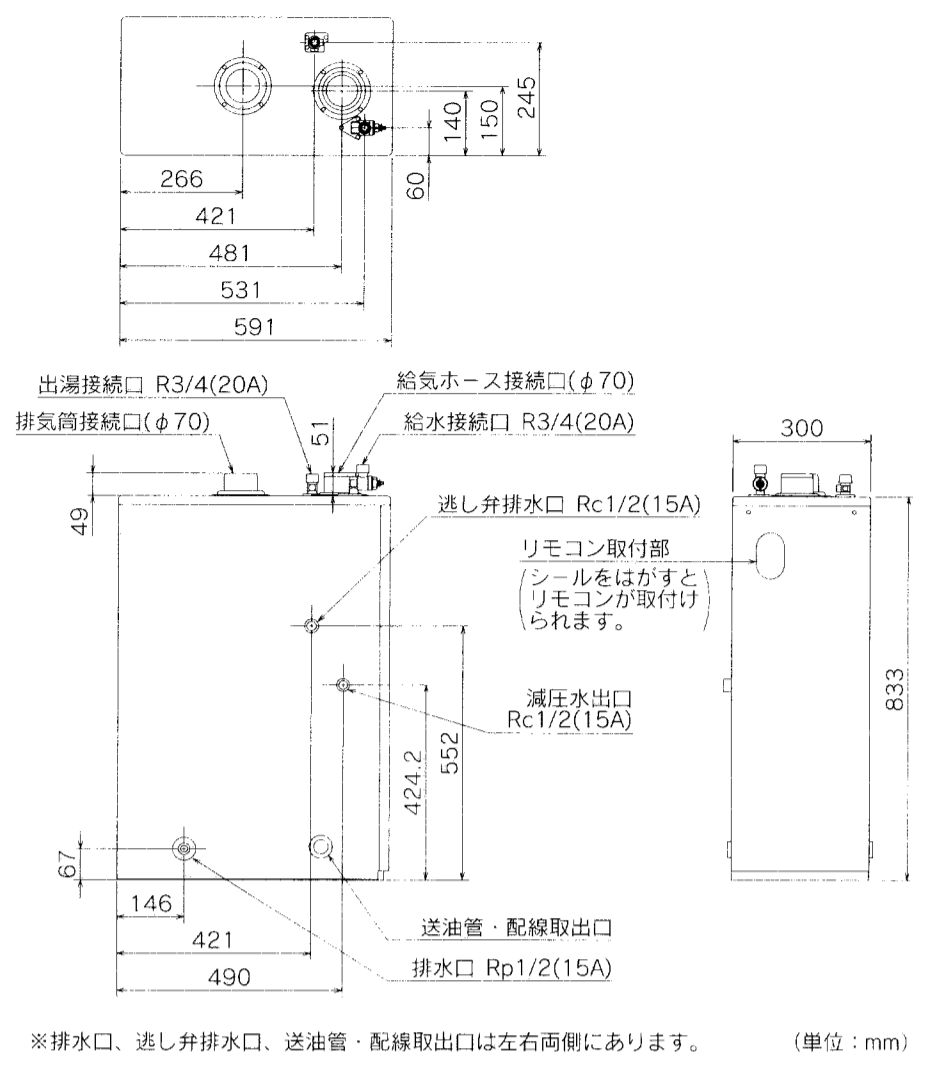
アース工事を確実に行ってください。アースが不完全な場合は、感電するおそれがあります。

給排気筒の点検

給排気筒の取付けが終わりましたら、もう一度点検してください。次のような取付けは危険であったり、不完全燃焼をおこすおそれがありますので、必ず修正してください。

①可燃物近接禁止 	②接続部のゆるみ禁止 ゆるんでいませんか。 	③下り勾配のこと 	④3m3 曲がり以下のこと 曲がり 3m3 以下 曲がり3カ所以下 延長3m以下
⑤給排気筒トップと建物(隣家を含む)の開口部(窓など)は離れていること 	⑥給排気筒トップ付近の危険物近接禁止 		

外形寸法図



据付け

「特に注意していただきたいこと」の項も必ず確認してください。

1 機器の設置

- 機器は必ず水平な場所に置かれているか確認してください。傾いていると対震自動消火装置が誤作動します。
- 機器をコンクリート等で埋め込まないでください。
- 設置床面は凹地にしないでください。
- 水やゴミがたまって不完全燃焼の原因になります。

2 油タンクについて

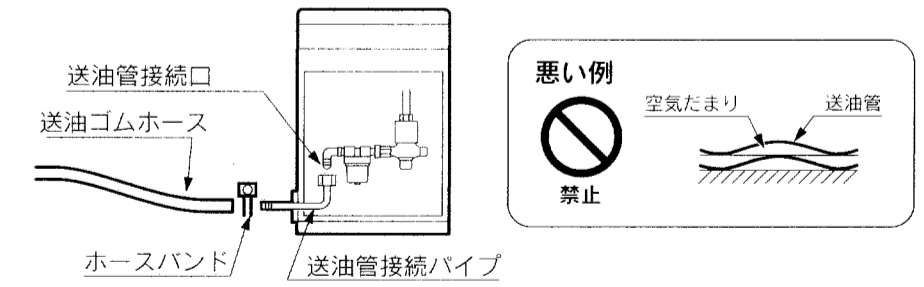
- 風通しがよく、直射日光ができるだけ当たらない場所に設置してください。
- 油タンクの容量が200L以上の場合は消防署へ「危険物の貯蔵・取扱届」が必要です。個人の住居に設置するときは不要となる場合があります。詳しくは各地域の火災予防条例を参照してください。
- 油タンクには必ず水抜きバルブを設けてください。

3 送油管 (送油ゴムホース) の取付け

注意

- 接合部から油漏れがないように注意してください。
- 送油管接続パイプが機器内部の部品に接触しないように接続してください。

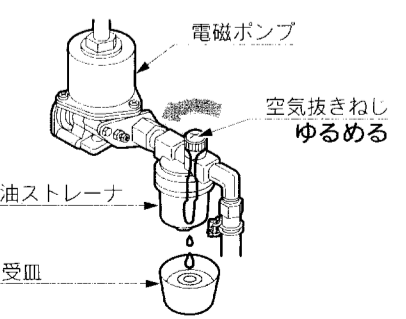
- 送油管が途中で逆U字型になって、空気だまりができないようにしてください。
- 送油管内のゴミ等を取り除いてください。
- 送油管接続口に送油管接続パイプを図のように接続してください。



4 送油経路の空気抜き

- (1)油ストレーナの下に受け皿などを置きます。
- (2)送油バルブを開き、油ストレーナの空気抜きねじをゆるめて、灯油が連続して出てきたらねじを締めてください。
- (3)こぼれた灯油を拭きとってください。

●試運転時に油ストレーナの空気抜きを行っても、電磁ポンプ内の空気が抜けるまで振動音が出たり、着火しないで警報になることがあります。故障ではありません。警報になった場合はリモコンの運転スイッチを一度「切」にして再度「入」にしてください。



開こん

1 開こんの際の注意事項

- 機器がご使用になる目的、用途に適合しているか確認してください。
- 表示してある電源(電圧・周波数)以外では使用しないでください。
- 梱包材から機器を正しい取り出し方で取り出してください。

2 付属品の確認

●次の部品が梱包されていますので、不足のないことを確認してください。

プラグ(1/2B)(2個)	送油ゴムホース	明細は給排気筒付属の工事説明書を参照してください。	取扱説明書(保証書付)工事説明書	送油管接続パイプ

3 別売部品

この機器には以下のいずれかの別売のメインリモコンセットが必要です。メインリモコンを取付けないと操作できません。(サブリモコンを追加することもできます。)

- メインリモコンセット [IR-4] (リモコン(CMR-2101)・リモコンコード) [IR-4V] (リモコン(CMR-2101V)・リモコンコード) [IR-6] (リモコン(CMR-2202)・リモコンコード)
- サブリモコンセット (CMR-2200S) ●油切れ予告装置 (OC-3) ●リモコンコード

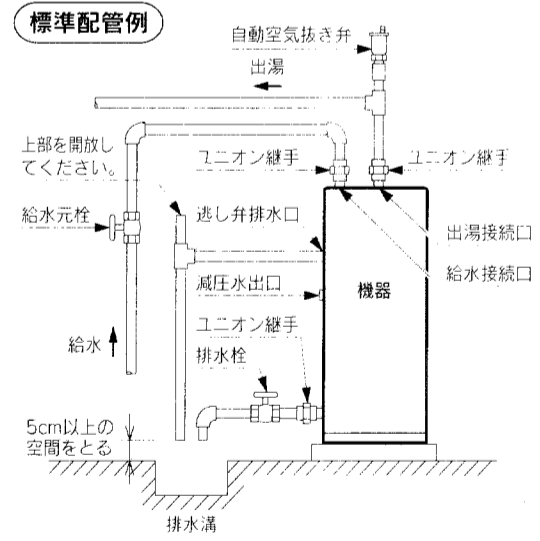
水道配管

注意

- 配管工事は各市町村水道局(課)の指定工事に依頼し、所轄の水道局(課)の規定に従ってください。
- 配管材料、シール材等は各市町村水道局(課)承認のものを使用してください。
- 配管はすべて保温してください。
- 出湯配管は脱酸銅管またはステンレス管をおすすめします。塩ビ管は使用している間に破裂するおそれがあります。また、銅管は赤錆発生の原因になりますので、できるだけ使用しないでください。
- この機器を温水・井戸水で使用する時、機器の熱交換器・内部配管の水漏れ等耐久性を損なう場合があります。

1 配管上の注意

- この機器には減圧弁、逆止弁、逃し弁が内蔵されています。
- 上水道に直結する場合は、水道局(課)の許可が必要です。詳しくは所轄の水道局(課)に確認してください。
- 自家用の井戸ポンプに接続する場合はお近くの工場・支店・営業所に相談してください。できるだけ上水道に接続することをおすすめします。
- 機器の取りはしりができるようにユニオン継手で接続してください。
- 配管を機器に接続する場合は、必ずスパナ・バイブレンチなどを接続口にかけて、機器内に無理な力がかからないように注意して接続してください。
- 機器内に空気がたまるように、できるだけ出湯側に自動空気抜き弁を取付けてください。
- 機器に接続する前には必ず水を流して配管内のゴミを排出してください。
- 混合水栓はその混合水栓の仕様に従って接続してください。
- 絶対に減圧水出口に上下水道やポンプ、太陽熱温水器を接続しないでください。
- 配管に接続しない側の排水口は付属のプラグを取付けてください。
- やけど防止のため混合水栓はサーモスタット付混合水栓の使用をおすすめします。
- 太陽熱温水器を接続する場合は直圧式の太陽熱温水器を給水側に接続してください。
- 機器に接続する前には必ず水を流して配管内のゴミを排出してください。
- 排水配管は必ず雨水等の排水溝に導いてください。下水回路に導くと臭気ガス等により故障の原因になることがあります。
- 排水配管の末端は排水溝のあふれ縁より5cm以上の空間を確保してください。排水溝内には入れないでください。



2 給水配管

- 機器の給水接続口の近くには必ず給水元栓を取付けてください。
- 給水管は水道管から直接配管してください。

3 出湯配管

- 機器は使用頻度が高い場所の近くに取付け、出湯配管はできるだけ短くしてください。
- 混合水栓は通水抵抗の少ないもの、またシャワーヘッドは圧力損失の少ないものを使用してください。
- 継手類はできるだけ少なくし、複雑な配管にならないようにしてください。
- 空気だまりができないような配管にしてください。

4 配管の凍結予防

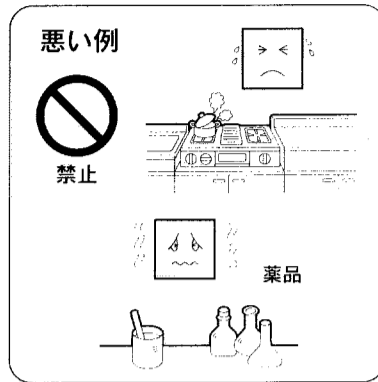
- 保温は水漏れテスト後に行ってください。
- 保温材の端面は防水処理を行ってください。
- 寒冷地ではさらに市販の電気ヒーターを配管やバルブ類に巻いて、十分な保温を行ってください。保温が充分でない凍結予防処置を行っても効果がありません。
- 水抜きが簡単にできるように配管し、もしできない場合は配管の途中に水抜きバルブを取付けて水抜きができるようにしてください。
- 凍結予防工事を完全に行っても、凍結予防方法をお客様に実行していただきませんと凍結してしまうことがあります。取扱説明書に説明してありますので、実際に操作して指導してください。

リモコンの取付け

- この機器には別売のメインリモコンセットが必要です。メインリモコンを取付けないと操作できません。また、この機器には別売のサブリモコンセットが接続できます。
- 機器とリモコンの接続は小勢力回路の工事に該当し、電気工事士の資格がなくても工事はできますが、電気設備に関する技術基準に従って工事を行ってください。
- リモコンコードは電源プラグを抜いた状態で接続してください。

1 リモコンの取付け上の注意

- ガステーブル・こころなどの燃焼器具の上には絶対に取付けしないでください。電気部品の故障・外装の変形をおこします。
- 炊飯器・電気ポットなどの蒸気・水滴、しゃ口からの水しぶきがかかる場所には取付けないでください。
- 直射日光のあたる場所には取付けないでください。
- お湯の使用頻度の高い場所(台所等)の近くに取付けていただくとう便利です。
- 業務用薬品(アンモニア・イオウ・塩素・エチレン化合物・酸類など)を使用する場所に取付けないでください。

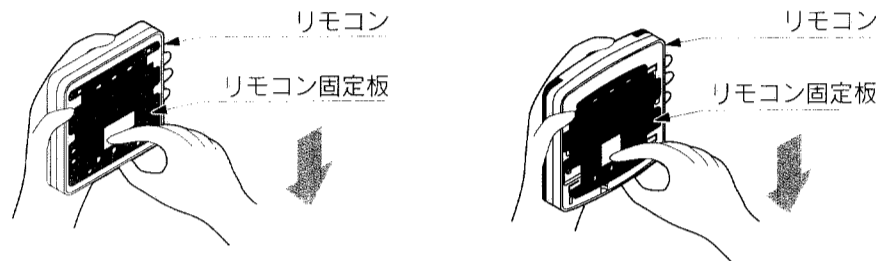


2 リモコンの取付け

(1)リモコン固定板を下にスライドさせ、リモコンからはずします。

●CMR-2101・CMR-2101V

●CMR-2202



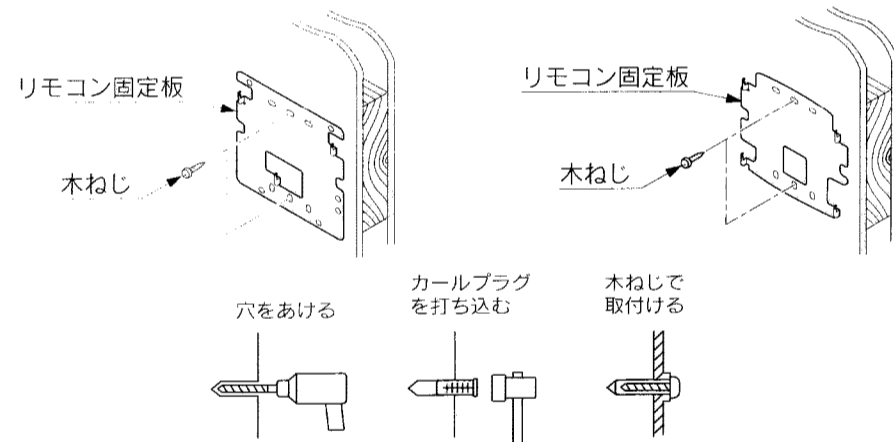
(2)リモコン固定板を壁に固定します。(リモコン固定板を使用しなくても取付けられます。)

露出配線の場合

壁の丈夫な場所(柱等)にリモコン固定板を付属の木ねじ(2個)で直接固定します。タイル、コンクリート、モルタルなどの壁にリモコン固定板をねじ止めする場合は、付属のカールプラグを使用してください。

●CMR-2101・CMR-2101V

●CMR-2202

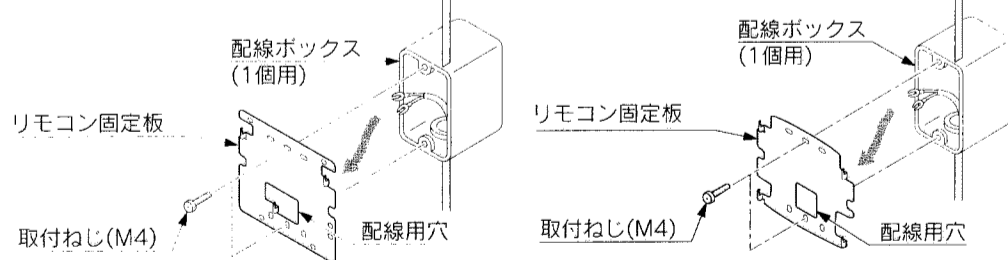


埋め込み配線の場合

- ①事前に壁内部に電線管と別売のリモコンコードを通して、配線ボックスを設置します。
- ②リモコンコードをリモコン固定板の配線用穴から引き出します。
- ③リモコン固定板を配線ボックスの取付ねじ穴に合わせ、取付ねじ(M4)で固定します。ねじを強く締めすぎるとリモコン固定板が変形してリモコンが取付けられなくなる場合があります。

●CMR-2101・CMR-2101V

●CMR-2202



(3)リモコンの基板の端子に別売のリモコンコードを接続します。

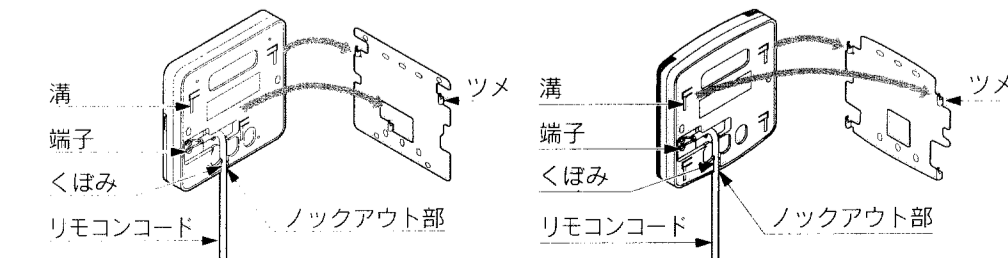
リモコンコードは無極性ですので、+はありません。端子への接続時に無理な力を加えて基板に傷をつけないように注意してください。電動ドライバーを使用すると端子のねじ穴を破損するおそれがありますので、使用しないでください。

露出配線の場合

リモコン下部のノックアウト部を切り取り、そのくぼみにリモコンコードを入れて、図のように端子にしっかりと接続します。

●CMR-2101・CMR-2101V

●CMR-2202

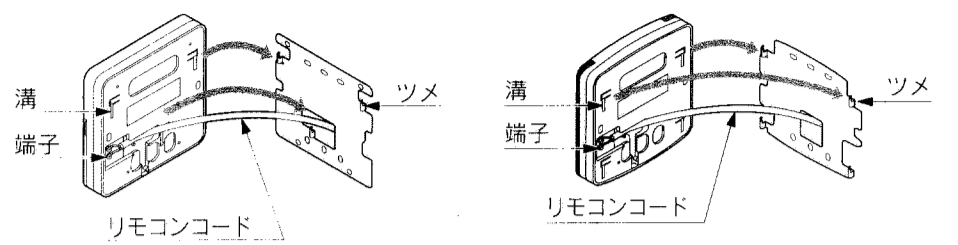


埋め込み配線の場合

リモコン固定板の配線用穴から引き出したリモコンコードを図のように端子にしっかりと接続します。余ったリモコンコードは壁穴に入れます。

●CMR-2101・CMR-2101V

●CMR-2202



(4)リモコンを取付けます。

リモコン固定板を使用する場合

リモコン固定板のツメをリモコンの背面の溝に合わせて、上からスライドさせ固定します。

リモコン固定板を使用しない場合

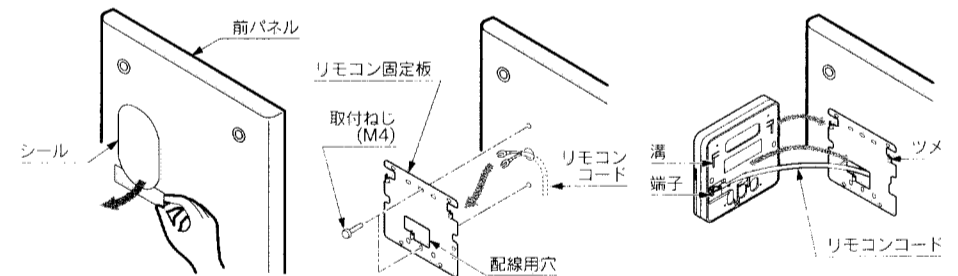
●CMR-2101・CMR-2101Vの場合
リモコンのふたを開いてホールプラグをはずし木ねじでリモコンを壁に直接固定し、ホールプラグを取付けふたを閉じます。ねじを強く締めすぎるとリモコンのねじ穴が破損するおそれがあります。

●CMR-2202の場合
リモコンの左右のカバーをはずし木ねじでリモコンを壁に直接固定し、カバーを取付けます。ねじを強く締めすぎるとリモコンのねじ穴が破損するおそれがあります。(左右のカバーは下の角部の溝に爪をかけるとはずれます)

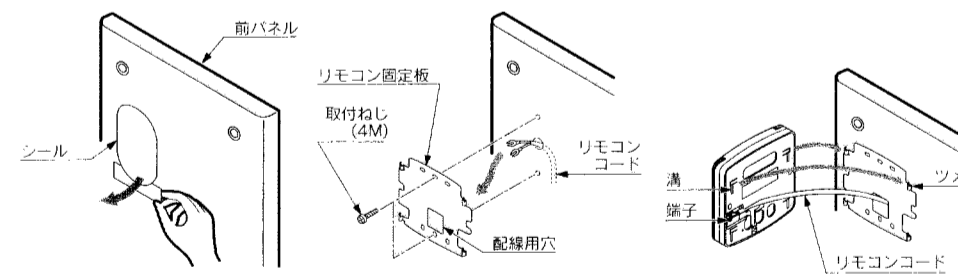
リモコンを機器に取付ける場合

- ①機器の前パネルのねじ(2個)をはずし、前パネルをはずします。
- ②本体に仮固定されているシールをはがします。
- ③リモコン固定板を付属のねじ(2個)で前パネルに取付けます。
- ④リモコン固定板のツメをリモコンの背面の溝に合わせて、上からスライドさせ固定します。

●CMR-2101・CMR-2101Vの場合

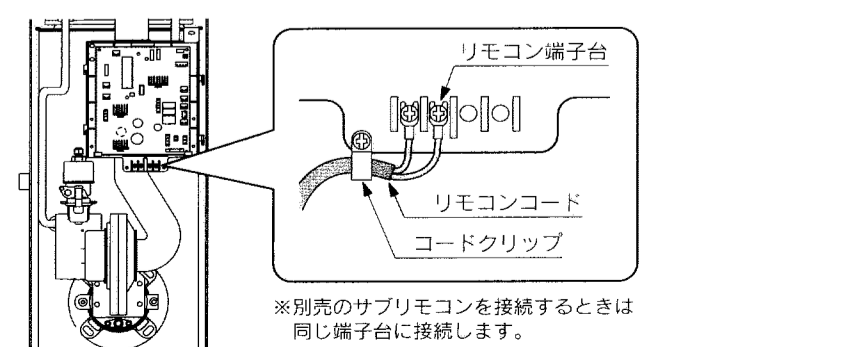


●CMR-2202の場合



3 機器との接続

- (1)電源プラグをコンセントから抜きます。電源プラグを差したままリモコンコードを接続しないでください。
- (2)機器の前パネルのねじ(2個)をはずして前パネルをはずします。
- (3)リモコンコードを機器側面の送油管・配線取出口から通しリモコン端子台に導きます。
- (4)リモコンコードをリモコン端子台に接続します。リモコンコードは無極性ですので+はありません。ドライバーなどが他の電子部品に接触しないように注意してください。
- (5)リモコンコードを本体付属のコードクリップでしっかりと固定します。
- (6)機器の前パネルを元通りに取付けます。



※別売のサブリモコンを接続するときは同じ端子台に接続します。

電気配線

注意

- 適切な位置にコンセントがない場合は、電気配線を電力会社の指定工事店に依頼し、所定の配線をしてください。
- 電源コードは束ねたまま使用しないでください。発熱・火災の原因になります。

1 使用電源について

- 電源は必ずAC100Vを使用してください。絶対に200Vに接続しないでください。機器が破損します。

2 電圧降下に注意

- 電圧が低下すると故障・誤動作の原因になります。

3 電源周波数について

- 本機は50Hz・60Hz共用です。

4 接地(アース)について

- アース工事を確実に行ってください。アースが不完全な場合は、感電するおそれがあります。
- 機器にアース端子を表示してあります。電気設備に関する技術基準に基づき、D種接地工事を行ってください。(接地抵抗100Ω以下)
- アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。



給排気筒の取付け

裏面の「特に注意していただきたいこと」の項も必ず確認してください。

- 本機器には必ず給排気筒を取付けてください。

1 使用する給排気筒

- 使用する給排気筒は必ず当社指定の給排気筒を使用し、指定外の給排気筒は使用しないでください。

2 給排気筒の取付け方法

給排気筒の取付けは、給排気筒(別梱包)に付属の工事説明書を参照してください。

3 延長排気工事の限界

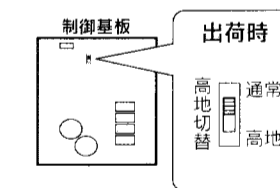
- 給排気筒を延長する場合は、別売の延長部品を使用してください。
- 設置条件によって給気ホースと排気筒を延長することができますが、延長限界は3m3曲がりまでです。長すぎたり、曲がりが多いと異常燃焼することがあります。

4 集合煙突利用の禁止

- 給排気筒は絶対に集合煙突に接続しないでください。

1,000m以上の高地で使用する場合の処置

- 1,000m~1,500mの高地で使用の場合は、制御基板上の高地切替スイッチを切り替えてください。工場出荷時は「通常」になっています。高地切替スイッチは電源プラグを差し込む前に切り替えてください。
- 標高1,500mを超える場所では使用できません。



据付工事後の点検・確認

- 据付工事が終わりましたら、もう一度確認してください。

1 機器およびその周辺

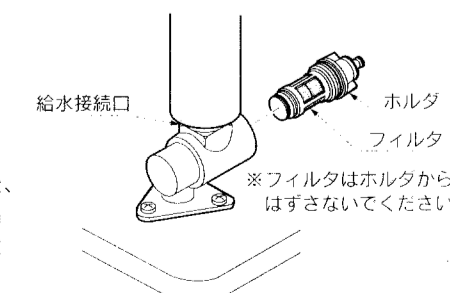
- 設置条件を満たしていますか。
- 可燃物との距離および防火上の処置は充分ですか。
- 機器や配管の接続部に水漏れはありませんか。
- 機器や油タンク、送油管に油漏れはありませんか。
- 点検・修理など保守・管理に必要な空間がありますか。

2 電気配線工事

- 機器およびリモコンへの配線は、指定された工事で行われていますか。
- D種接地工事はされていますか。

3 水フィルタの掃除

- 機器や配管の接続部に水漏れがないか確認後、図のように給水接続口の水フィルタを取り出し、水フィルタに詰まっているゴミを取り除いて、元通りに取付けてください。



試運転

- 試運転はお客様と一緒に必ず行ってください。

1 試運転

(1)取扱説明書の「据付け」の「試運転」に従って、試運転を行ってください。

(2)正常運転するか確認してください。

- バーナーの点火・消火は確実ですか。(リモコンの燃焼表示を確認してください) 試運転時は内部の防錆油が燃えるため、煙や臭いが出ることがありますが、しばらく燃焼すると出なくなります。
- 給湯温度調節はできますか。湯温が変化するかどうか確認してください。

2 お客様がすぐに使用されない場合

- 試運転後、機器や配管内に残った水をお客様が使用されるまで放置すると、凍結して機器が破損したり、熱交換器内の水が変質することがありますので、必ず水を抜いてください。(取扱説明書の「凍結予防」の項参照)

3 お客様への説明

- 取扱説明書に従って取扱方法をお客様に説明してください。
- 保証書に必ず必要事項をご記入のうえお客様にお渡しください。また取扱説明書に従って「アフターサービス」について説明してください。

廃棄するときの注意

- 機器を廃棄するときは、必ず灯油を抜いてください。リサイクルの支障となります。

住宅設備機器総合メーカー



●本社 〒752-8555 山口県下関市長府扇町2-1 ☎(0832)48-1111 FAX(0832)48-1906